

日時:令和3年11月16日(火) 15:30~17:00

第21回都道府県議会議員研究交流大会

第3分科会 資料

「東京一極集中の是正と地方創生」

【コーディネイター】

(株)日本総合研究所主席研究員 藻谷 浩介 氏(別冊で配布)

【パネリスト】



秋田県議会議員 北林 丈正 氏



長崎県議会議員 浅田 ますみ 氏

第21回都道府県議会議員研究交流大会

第3分科会「東京一極集中の是正と地方創生」



秋田県議会 北林 丈正

1. 秋田県について

○秋田県の概要

人口: 960,113人 📍全国38位
面積: 11,637km² 📍全国6位
市町村数: 25
選挙区: 14
議員定数: 43



男鹿市「なまはげ」

○秋田県の全国1位

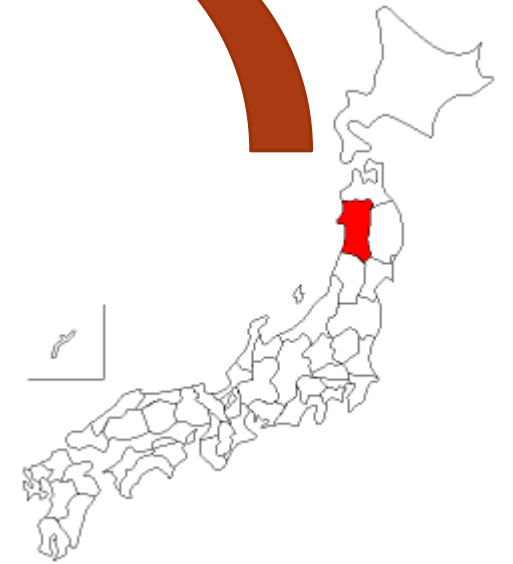
- ・農家人口比率
 - ・理容・美容所数
 - ・刑法犯の少なさ
 - ・スギ人工林面積
 - ・子どもの学力
 - ・重要無形民俗文化財の件数
- etc.....



いぶりがっこ



きりたんぼ鍋



横手市「かまくら」

2. 北秋田市・上小阿仁村について

○北秋田市の概要

人口: 30,217人
面積: 1,152km²

○上小阿仁村の概要

人口: 2,069人
面積: 256km²

○有名なもの

- ・自然と共存する阿仁マタギ文化
- ・伊勢堂岱遺跡
(ユネスコ世界文化遺産)
- ・森吉山の樹氷
(日本三大樹氷鑑賞地)
- ・阿仁熊牧場くまくま園
- ・天然秋田杉
- ・食用ほおずき
- etc.....



阿仁マタギ文化



くまくま園



伊勢堂岱遺跡群



森吉山の樹氷

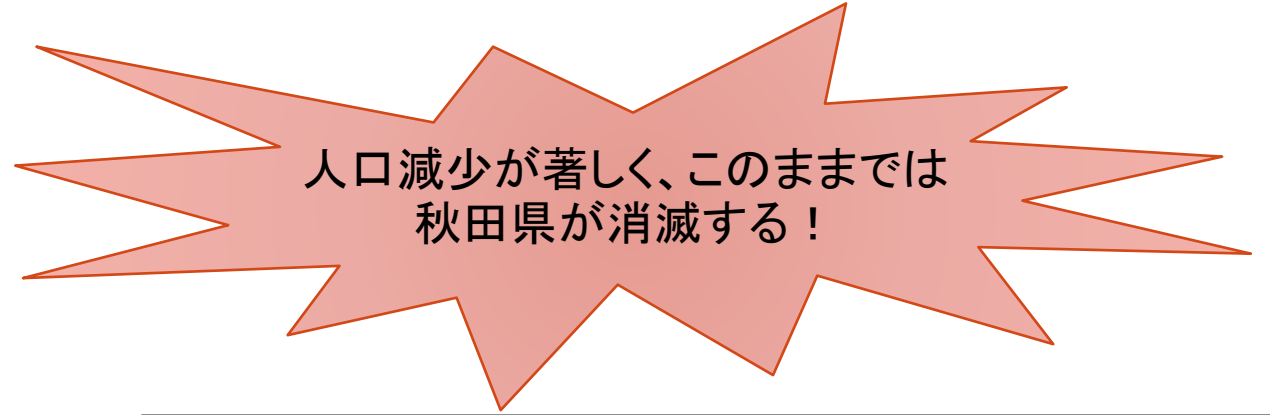
3. 秋田県の現状

○秋田県に関する指標

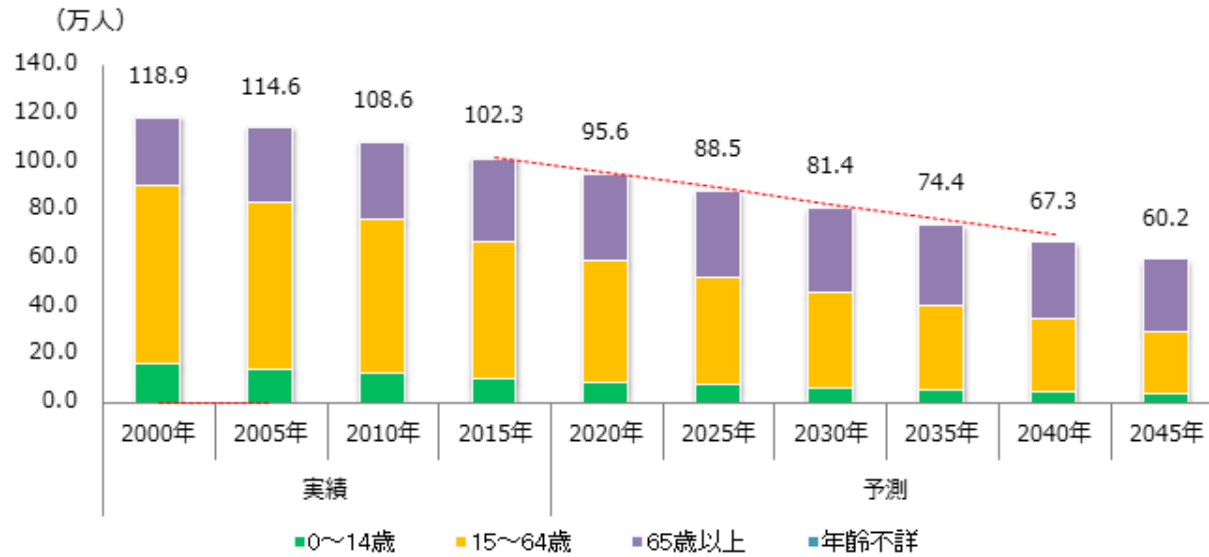
15歳未満人口割合47位、65歳以上人口割合1位、
平均年齢1位、人口増減率1位、出生率47位、
自然増減率47位、婚姻率47位・・・



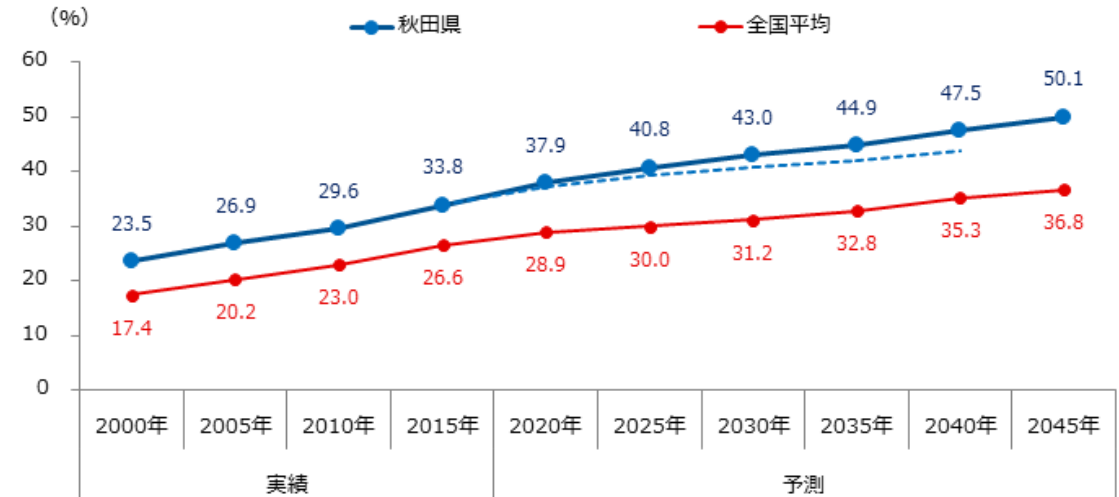
⊗ 少子高齢化に関する指標が多数 ⊗



秋田県の人口推移



秋田県の高齢化率の推移



※高齢化率：総人口に占める65歳以上の人口割合(%)，年齢不詳を除いて算出

4. 近年の特別委員会による調査活動

○近年の特別委員会による調査活動

- ・地方創生に関する調査特別委員会（平成27年5月11日～10月8日）
- ・地域社会の維持・活性化に関する調査特別委員会（平成29年9月13日～平成30年7月13日）
- ・企業の振興と人材の確保に関する調査特別委員会（令和元年10月8日～令和2年9月11日）

いずれの調査活動でも、関係団体との意見交換会、関係団体の視察等を行った。それぞれの調査報告で共通していることは・・・



地域の魅力・資源
を磨き上げて
付加価値を創造



官民協働による
時代に合わせた
PR・発信



国と地方が一体と
なり移住・定住
促進施策を推進

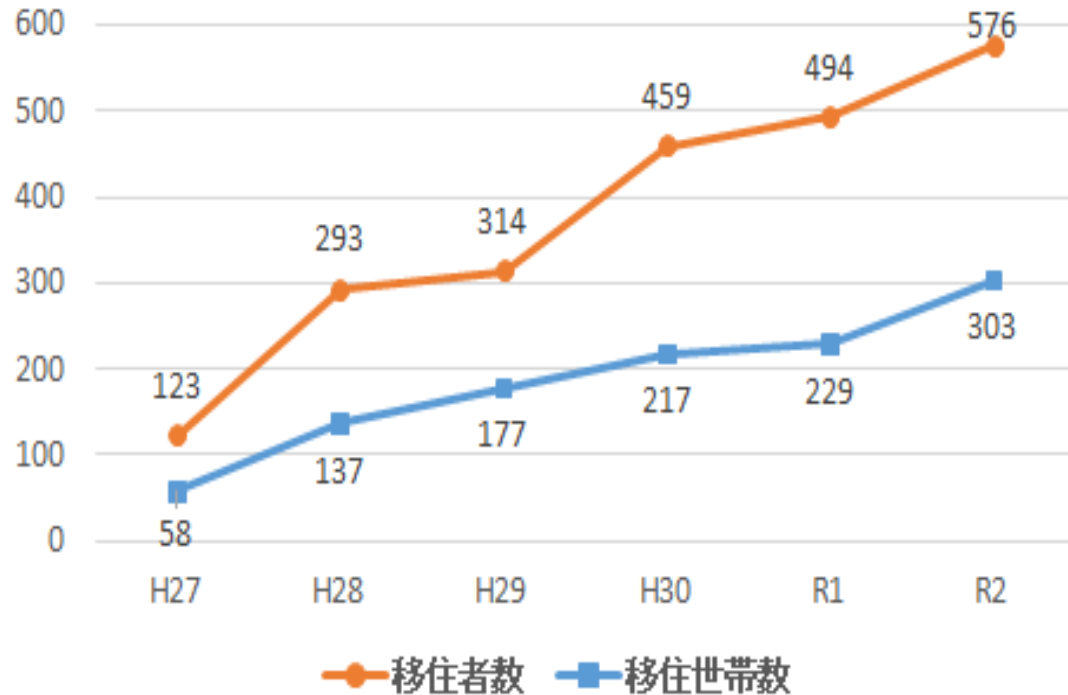


持続可能な秋田県



5. 移住・定住促進に関する取組

移住者数・世帯数推移 単位：人、世帯



○執行部署について

- ・平成26年から移住・定住に関するセクションを設置
- ・平成29年から未来創造部を新設し、移住・定住促進課を設置

○移住・定住促進課の取組内容

- ・秋田県東京事務所に配置している「秋田学生就活サポーター」による学生の相談対応
- ・秋田県就活情報サイトのマッチングシステム
- ・Aターン就職希望者と県内企業のマッチング支援
- ・県内就職者に対する奨学金返還助成
- ・東京及び県内の移住相談窓口による相談対応及び情報発信



「秋田県移住・定住総合ポータルサイト」



秋田県就活情報サイト「KocchAke!(こっちゃけ)」

※Aターン・・・秋田県へのUターン、Iターン、Jターンの総称。
オールターンと秋田の「A」をかけた言葉。

6. 担い手確保に関する取組

○新規就業者の確保・育成

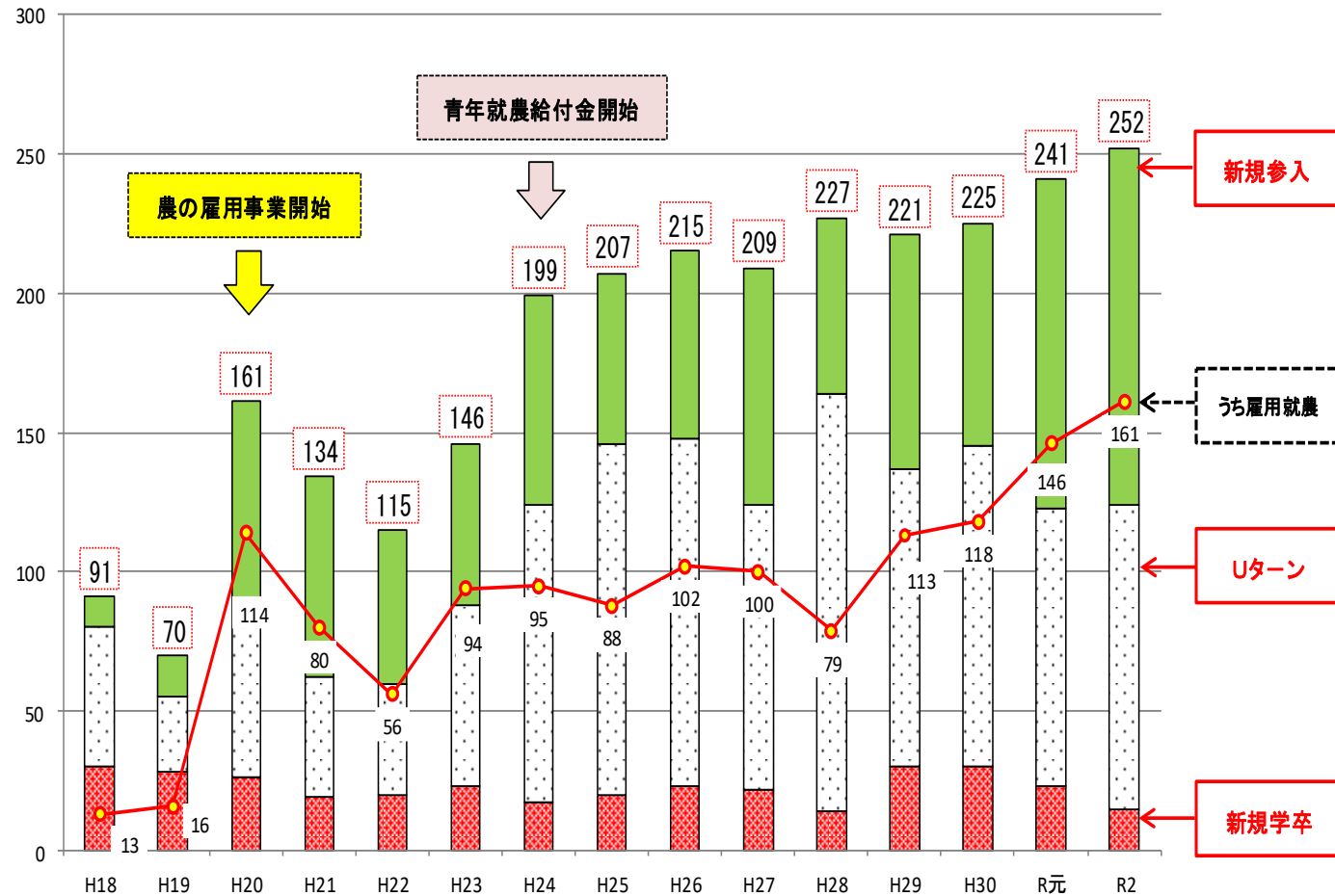
- ・就農希望者に対する啓発・準備研修
- ・新規就農者に対する機械・施設等の導入支援
- ・若者の自営就農者等に対する人材投資資金の給付
- ・秋田林業大学校から県内林業事業体等に就職

○多様なルートによる移住就業の促進

- ・農林水産ポータルサイト「こまちチャンネル」と移住・定住総合ポータルサイトの相互情報発信
- ・移住就農希望者に対するインターンシップ研修
- ・農家民宿や農家レストランの起業希望者に対する農泊ビジネス企業実践研修
- ・移住就農者に対する機械・施設等の無償貸与及び技術指導

新規就農者数の推移

単位:人



共通していることは、就業前の相談から就業後の技術・経営両面のアフターフォローまでの一貫したサポート！

7. 地域おこし協力隊の事例①(阿仁マタギ継承)

○夫婦で協力隊となった高橋夫妻

- ・ダーツバーで働いていた高橋さん
- ・協力隊として移住し、マタギ活動を行う
- ・奥さんも協力隊員としてどぶろく製造に従事
- ・任期後は定住して民泊やどぶろく工房開業を目指す

○マタギを目指して移住した3人

- ・山と関わる生活に興味を持ち移住
- ・頭領の鈴木さんに師事し、共に猟を行う

○マタギ文化継承活動を行う貝田さん

- ・狩猟に興味を持ち、協力隊として移住
- ・狩猟免許を取得して森吉猟友会に所属
- ・秋田弁のLINEスタンプ「マタギ君」を発売中



観光振興を行う高橋さん



マタギの魅力を語る(左から)木村さん、山田さん、益田さん、鈴木さん



LINEスタンプ「マタギ君」



Instagramで発信する貝田さん

8. 地域おこし協力隊の事例②(SNSによる地域の魅力紹介)

○大仙市の地域おこし協力隊チーム

- ・3名の隊員がチームとなり、地場産品を用いたお土産の商品開発を行いながら、祭りや酒造り、地域活動等、大仙市の暮らしについてYouTube、Facebook、Instagramで紹介



○北秋田市の斎藤さん

- ・海外のレストランでの勤務経験を活かして、北秋田の魅力ある食文化を学び実践しながら、普段の生活についてもYouTube、Instagramを活用して国内外へ発信中

9. 議会による要望活動



○高速道路の建設促進(左図)

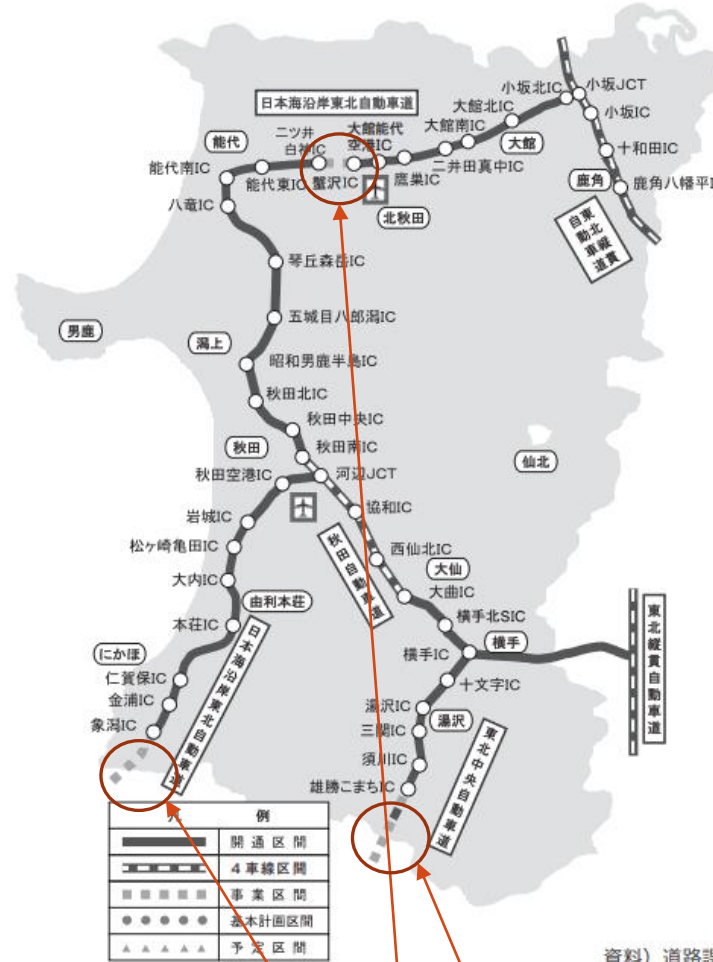
- ・東北中央自動車道・・・東北の中央部を縦貫
- ・日本海沿岸東北自動車道・・・日本海沿岸部を縦貫
- ・地域間交流や首都圏との広域的交流に寄与
- ・ミッシングリンクとなる区間の建設促進について関係県議会による協議会を組織して要望中

○秋田新幹線トンネル整備(右図)

- ・秋田駅と盛岡駅をつなぐ秋田新幹線
- ・自然災害等による運休・遅延の回避・低減が必要
- ・「基幹鉄道議員連盟」を組織し、トンネル整備実現について要望中

※上記他、執行部でも関係自治体と期成同盟会を結成し、議会と一体となって要望活動を行っている。

秋田県高速道路網供用状況



秋田新幹線トンネル要望箇所



トンネルが開通すれば、雪や風による運休・遅延を防ぐことができ、社会的損失を回避・低減できる!

御清聴ありがとうございました



高 質 な 田 舎
AKITAVISION

●MEMO●

第21回都道府県議会議員研究交流大会

「東京一極集中の是正と地方創生」

長崎県議会議員
浅田ますみ





●人口=
人口／1,313,103人（国勢調査）
世帯数／558,372世帯（国勢調査）
（どちらも2020年10月1日現在）

●面積=
総面積 4,130.88平方km
（全国都道府県市町村別面積調）
（2017年10月1日現在）

●地形=
海岸線の延長4,178km（海岸統計）
（2017年3月31日現在）

●島の数=
594のうち有人島72 ※0.01平方km以上
（各市町調べ）
（2015年10月1日現在）



長崎県の県域は
ほぼ九州本土と同じ



長崎県の魅力 ～異国情緒あふれる街並み・文化～

大浦天主堂



©長崎県観光連盟

長崎中華街



©長崎県観光連盟

オランダ坂



©長崎県観光連盟

グラバー園



©長崎県観光連盟

龍踊（長崎くんち）



©長崎県観光連盟



長崎県の魅力

～夜景・港町の風景～



※ 世界新3大夜景に認定(モナコ、香港、長崎)



長崎県の魅力 ～風光明媚な離島の風景～

九十九島



青砂ヶ浦教会（上五島）



辰ノ島遊覧船からの眺め（壱岐）



筒城浜海水浴場（壱岐）



大瀬崎灯台（五島）



安心して暮らせる長崎県

犯罪発生率 少ない方から3位

人口10万人あたり刑法犯認知件数(H26)

全国平均 952.6件
長崎県 430.7件



出生率 全国3位

合計特殊出生率(H26人口動態調査)

全国 1.42
長崎県 1.66



病院数・医師数 全国8位

人口10万人比病院数・医師数
(H25医療施設調査、H24医師・歯科医師・薬剤師調査)

全国平均 病院数 6.7施設、医師数226.5人
長崎県 病院数11.4施設、医師数275.8人



地震発生率 少ない方から6位

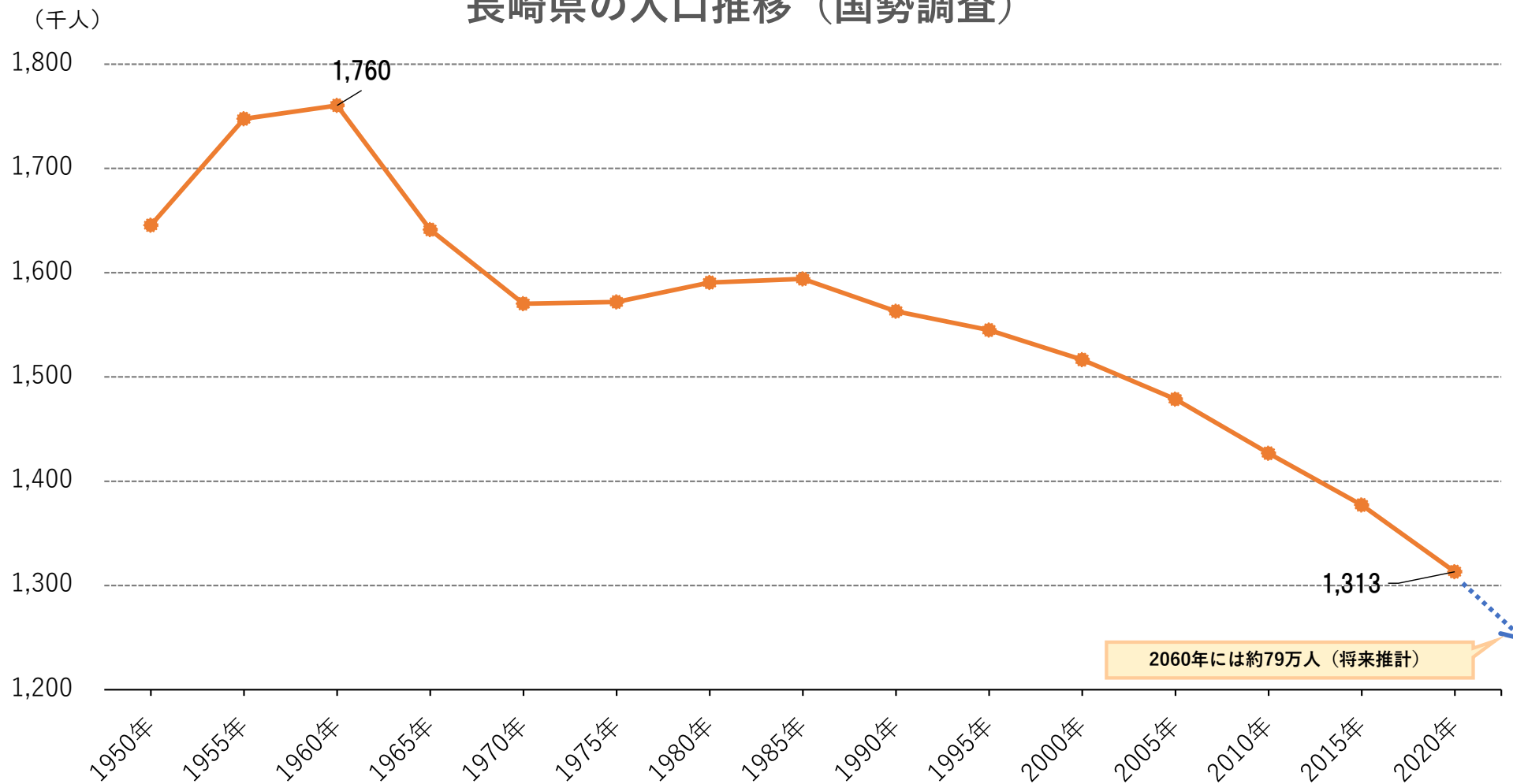
県庁所在地で30年以内に震度6弱以上の
揺れに見舞われる確率

(H26地震調査研究推進本部事務局資料)

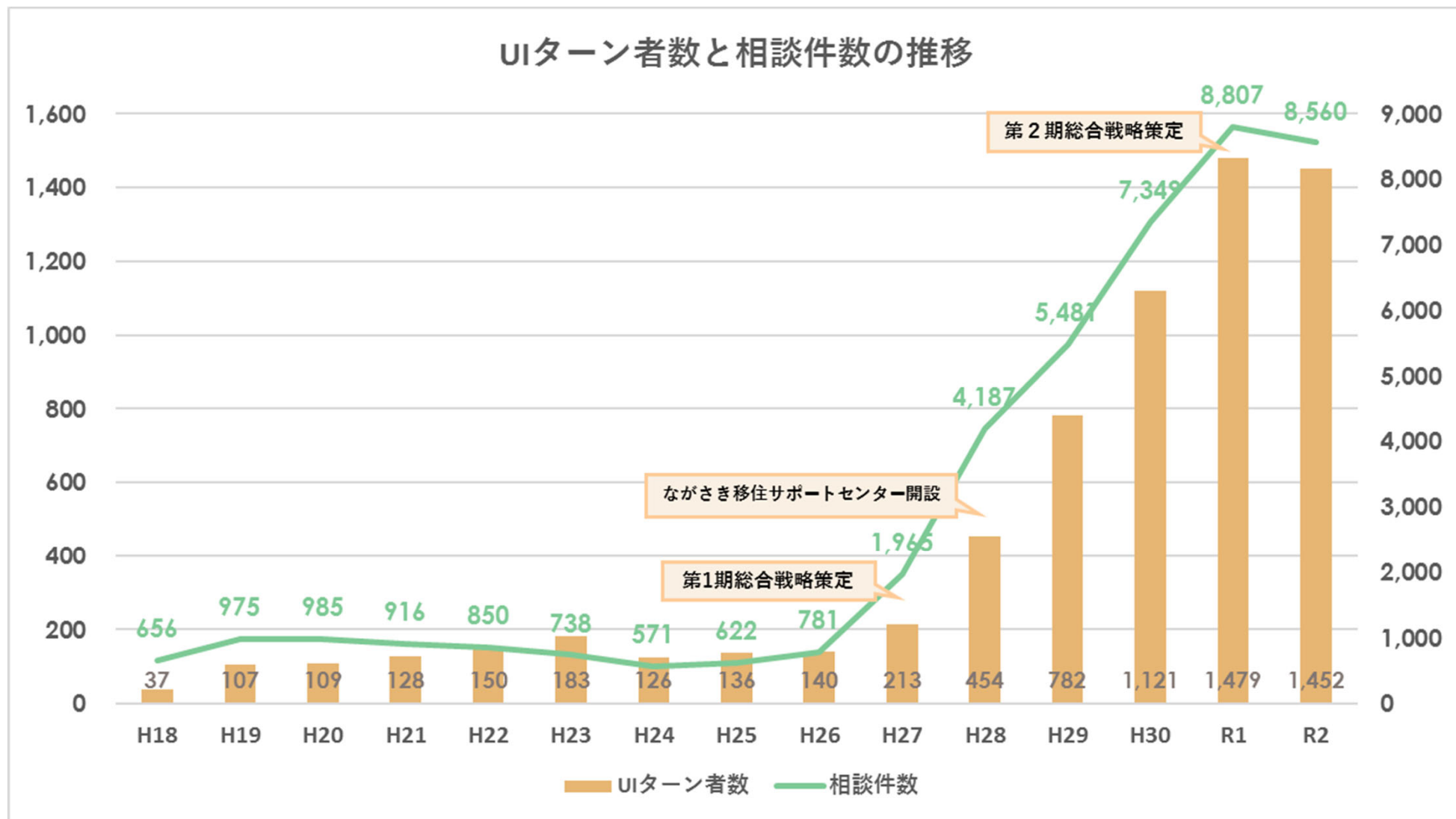
全国平均 29.3%
長崎県 5.0%

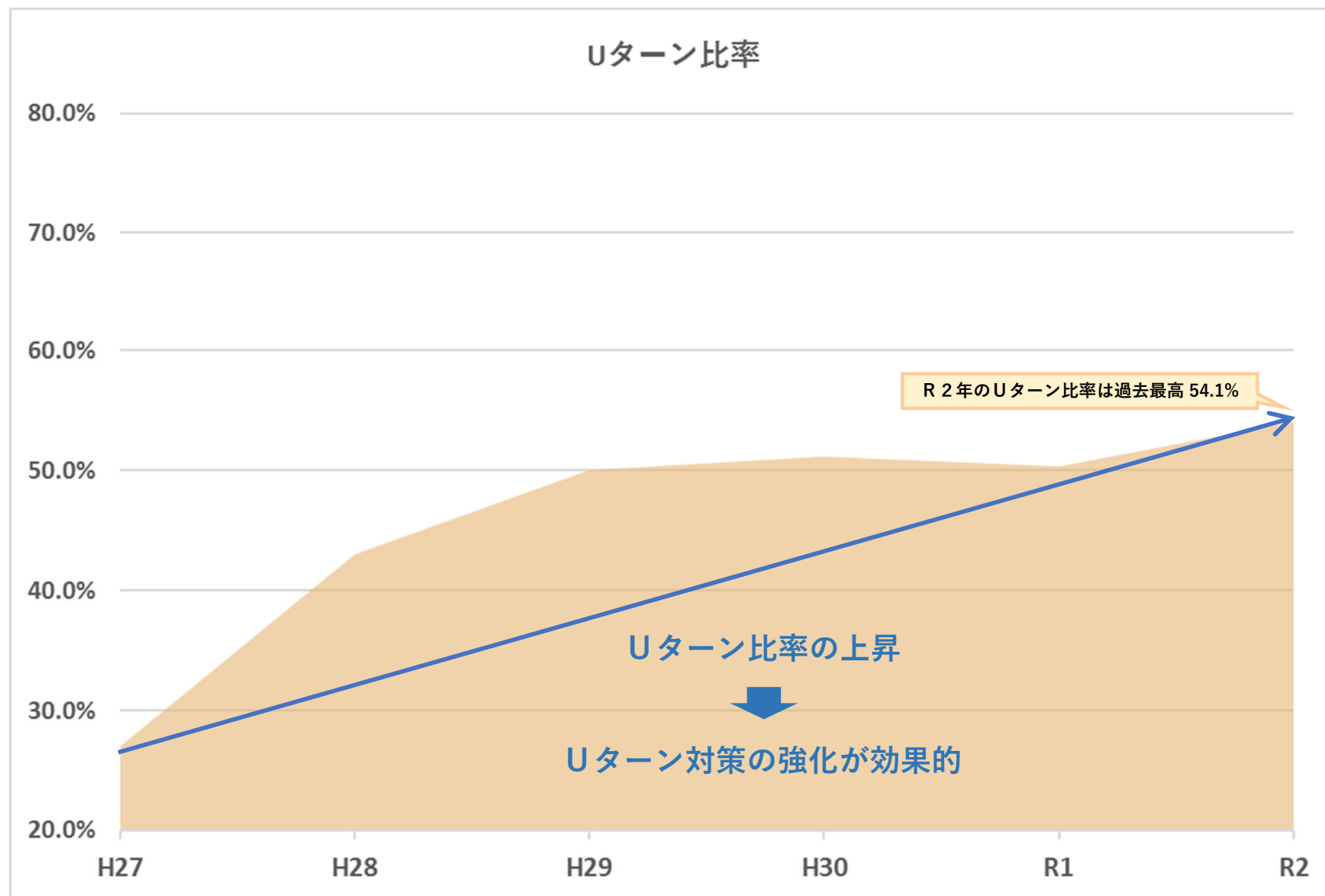


長崎県の人口推移（国勢調査）



UIターン者数と相談件数の推移





新型コロナウイルス感染症の拡大を機に、リモートワークやワーケーションなどの多様な働き方や生活重視の暮らし方が注目され、地方に軸足を置いた「二地域居住」や「転職なき移住」といった、働く場所にとらわれない新たな移住の形態が出現。このような、新たな人の流れを県内に呼び込んでいくことが必要となってくる。

《働く場所にとらわれない新たな人の流れ》

二地域居住

転職なき移住

オフィスの分散化

県内でのリモートワーク施設・受入環境の整備、都市部との関係づくりを進めることが重要

リモートワークを通じた関係人口創出・移住促進

都市部企業のサテライトオフィス誘致

「リモートワークin長崎プロジェクト」の推進

都市部企業との関係構築

- 県内各地域の受入施設・環境の整備
 - ・ リモートワーク体験やお試し移住など受入態勢づくり
 - ・ 地域の特徴を生かした滞在プログラム構築（観光との連携）
- 県内の受入施設・環境の魅力発信や相談支援
 - ・ ポータルサイトの構築、ワーケーションガイドの配置
- 民間ワーケーション団体と連携した都市部人材の呼び込み
 - ・ 県内の「地域課題」に着目した、都市部人材等の呼び込みや関係人口のコミュニティ構築
- 親子ワーケーションのモデルづくりと普及（モニターツアー）
 - ・ 地元住民との交流、子どもの体験入学による関係人口創出

- IT企業をはじめとした都市部企業の視察等の受入支援
- 企業との連携協定活用、働き方改革に積極的な企業との連携
- ワーケーションイベント、県内ツアーの実施による都市部企業の呼び込み、県内地域とのマッチング
 - ・ 本県でのワーケーションの魅力発信・誘致促進
 - ・ 県内のリモートワーク施設や滞在プログラムの視察

サテライトオフィスの整備・誘致

- 国のテレワーク交付金を活用したサテライトオフィスの開設や企業進出の支援
- 産業振興財団の企業誘致活動を通じた企業の呼び込み



観光閑散期の五島にて、個人ワーケーションの受け入れと地域交流を実施。
自然発生的に五島市の課題や、事業者の悩みを相談するような場面に。

事例 ① 五島ワーケーション・チャレンジ (GWC2020) 事例 ② 島ぐらしワーケーション in GOTO (GWC2021)



- ◆50人の定員に対して62人が参加
- ◆参加者の9割超が「非常に満足」「満足」と回答
- ◆ひと月の開催期間中の各種イベントに延べ682人(市民含む)が参加
- ◆観光閑散期に平均4泊。少なく見積もって約650万円の一時消費、約1060万円の経済波及効果を創出
- ◆NTTドコモ、パタゴニア、Slack、イワタニ・プリムスがパートナーに



- ◆50人の定員に対して、1.8倍の93人がエントリー(同伴者を入れると147人)
- ◆約3割が移住相談を希望
- ◆民泊体験、島しごと体験、島あそび体験など地域交流のソフト面を充実
- ◆日本初・ふるさと納税制度を活用して、参加費の一部を支払い可能に
- ◆ANA、シマノ、パタゴニア、イワタニ・プリムス、EIZUKAがパートナーに

【特徴】

1. 民泊しながら
2. 島の仕事をしながら
3. 地域と関わりながら
4. ふるさと納税が使える



地域と協力していろんなオプションを用意してます

保育園の一時利用

- ・地域の保育園の空枠を活用
- ・1日1500円程度でお手頃
- ・送迎と白飯は基本各自で用意
- ・申し込みなど手続きも各自

小学校の体験入学

- ・1クラス1人の受け入れ
- ・無料、教科書は貸し出し
- ・出席日数にカウントされない
- ・先生の手厚いケアに親が感動

アウトドアスクール

- ・地域の事業者と連携してワーケーション特別プランを準備
- ・平日毎日9:00-17:00
- ・年中-小6が対象
- ・1日1万3000円ほど

見守りサービス

- ・民間事業者と連携
- ・コワーキングスペースの横で平日毎日10:00-15:00
- ・親が同空間にいることが必須
- ・プロによる英語レッスンや知育、読み聞かせなど
- ・0-3歳が対象、1日5500円

島あそび体験

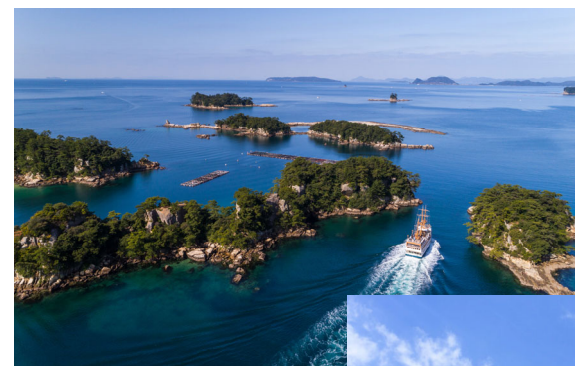
- ・既存メニュー+新規考案
- ・釣り(堤防釣り、船釣り)、釣果の調理、観光ツアー、バラモン風づくりなど
- ・親御さん同伴が必須
- ・開催期間中はほぼ毎日開催
- ・参加費は2000~1万2000円

島しごと体験

- ・地域の事業者と連携
- ・鮮魚の箱詰め、農業体験、五島うどん製麺所、かんころ餅製造所など(一部子ども不可)
- ・参加費は1回5000円
- ・親御さん同伴が必須



- ・ 佐世保市を中心とした「西九州させぼ広域都市圏」でのワーケーション受入を推進
- ・ トラストパーク(株)と連携したキャンピングカー周遊ワーケーションの取り組み
- ・ ハウステンボス等 市内観光地でのワーケーションプランも



【SASEBO to connect-サセボトコネクト-】

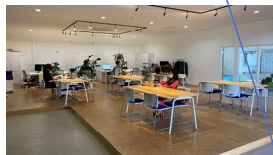
- ・ 佐世保市まちなか滞在拠点
お試し住宅兼ワーケーション受入施設
1泊 1,000円
- ・ 戦前からある古民家をリノベーション
梁や竹小舞、窓ガラスなどはそのまま活用



関係人口創出のため、県内各市町にテレワークできる環境を整備中。
また、各地の特色を活かしたワーケーション受入環境を整備中。

壱岐市

テレワークセンター及び短期滞在者向けシェアハウスを整備し、24時間365日利用可能（日本テレワーク協会自治体最優秀賞受賞）逆参勤交代（期間限定型リモートワーク）として、都市部企業の誘致に取り組んでいるほか、サテライトオフィス等開設事業者へ施設整備への補助を実施中。



松浦市

古民家でのワーク環境整備や、グランピング施設を使った家族でのワーケーション受入れも取組中。

佐世保市

佐世保市と近隣市町で構成する「西九州させぼ広域都市圏」でワーケーション受入れのモニターツアーを実施予定。
レンタルキャンピングカーを用いた周遊型ワーケーションも今夏より開始予定



新上五島町

宿泊施設や飲食店などが実施する環境整備への支援や、都市部の方を対象としたワーケーションモニターツアーを実施予定



長与町

サテライトオフィス等開設事業者への施設整備補助を実施中。
全国初の情報セキュリティ学科を擁する長崎県立大学が立地し、優秀な地域人材の確保も可能。



島原市

歴史・文化的な価値のある古民家を中長期滞在型施設として整備。
サテライトオフィス等開設事業者への施設整備補助や、三大都市圏からお試しテレワークや、サテライトオフィスの視察にいられた際の交通費の一部を補助を実施中。



五島市

「五島ワーケーション・チャレンジ2020 Winter」として、ワーケーションの導入を検討している企業等を対象に、ひと月限定のイベントを開催。地域との多彩な交流メニュー等を準備した「地域課題解決型」のワーケーションを実施。



長崎市

企業の受入れや、個人のワーケーションモニター体験事業を実施予定。
長崎出島ワーフ内のコワーキングスペースや、歴史的西洋建造物でのワーケーション実証など、各地でリモートワークできる環境を整備中。



雲仙市

ワーケーションできる温泉宿やe-bike、海や山のアクティビティなど、街ぐるみでワーケーション環境整備に取組中。
閉校した小中学校を、テレワークや地域内外の交流・チャレンジ拠点として活用。交流コンシェルジュも配置。



全国950以上の施設を
月額2,980円からサブスク

月額2,980円から。好きな時に好きなだけ。定額で無理なく続けて、あなたのライフスタイルに旅を取り入れてみませんか？



Kabuku styleが提案する新しい働き方・・・

長崎県は、

まちづくりの進展や産業構造の変化を捉えながら、

県内の地域課題の顕在化により、

人材や企業を呼び込み、

地域住民との連携・協働による地域づくりを

推進してまいります。

そして、

「人をひきつけ、選ばれる地域づくり」につなげ、

持続的な人の流れを生み出してまいります。



＼ 長崎の魅力やリモートワークに関する情報をお届けします！ /



リモートワーク・ワーケーション 体験記



2021.06.22

【リモートワークモニター体験記】長崎県内でお試し移住・リモートワーク体験：Y.H.さん(テクノロジー関係)

体験記



2021.06.22

【リモートワークモニター体験記】長崎県内でお試し移住・リモートワーク体験：H.M.さん(IT関係)

体験記



2021.06.21

【リモートワークモニター体験記】長崎県内でワーケーション体験：M.S.さん(IT(経営企画)関係)

体験記



●MEMO●